



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月6日

上場会社名 株式会社サンクゼール 上場取引所 東
コード番号 2937 URL <https://www.stcousair.co.jp/company>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久世 良太
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部 本部長 (氏名) 河原 誠一 (TEL) 026-219-3902
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	14,304	8.5	1,087	△7.7	1,132	△6.2	724	△8.2
2023年3月期第3四半期	13,183	—	1,178	—	1,207	—	789	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 841百万円(△11.8%) 2023年3月期第3四半期 954百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	79.40	77.28
2023年3月期第3四半期	102.59	95.99

(注) 2022年3月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	9,758	4,762	48.8
2023年3月期	9,174	4,226	46.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,759百万円 2023年3月期 4,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,711	10.3	1,681	5.1	1,661	2.5	1,096	3.5	118.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	9,212,200株	2023年3月期	9,068,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	9,125,821株	2023年3月期3Q	7,692,363株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、「コロナ」という。)が5類感染症に見直され、消費は拡大傾向にありましたが、一方で、円安や物価高騰の状況が続いており、景気回復の鈍化が懸念される状況にあります。

食品製造及び食品小売業界におきましても、円安や原料価格の高騰を背景に食品価格の値上げが継続的に実施されており、消費者の経済的負担の高まりによる消費低迷が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような状況において、当社は「愛と喜びのある食卓をいつまでも」というコーポレート・スローガンを掲げ、お客様の食卓に彩りを与え、お客様に満足いただける商品やサービスの提供に注力してまいりました。今後もお客様の声に徹底的に耳を傾け、お客様のニーズを起点とした商品やサービスを提供することにより、多くのお客様に当社のファンになっていただけるように、取り組んでまいります。

当第3四半期連結累計期間において、B to Cの販売チャネルである店舗(直営・FC)及びECに関しては、売上高は前年同期を上回る結果となりました。しかし、秋口以降、前年同期に多くのテレビ番組で取り上げていただいたことの反動や残暑影響による秋冬商品の低調、さらに継続的な食品価格の上昇により、お客様の節約マインドが徐々に高まっていること等が影響し、当第3四半期連結会計期間の既存店(注)客数は前年同期比で△7.3%と減少いたしました。

(注)当社グループでは、開店後18か月以上経過している店舗を「既存店」として客単価及び客数を集計しております。

このような状況の中、当社の「久世福商店」が2023年12月にブランド立ち上げ10周年を迎えました。当社は、「食のSPA」と呼ぶビジネスモデルに基づき、お客様のニーズを起点として、開発、製造、販売を一気通貫で行う事業を展開しており、「久世福商店」においても、この「食のSPA」に基づき、お客様のニーズにお応えすることを第一と考えております。そこで、ブランド立ち上げ後の10年間を支えてくださったお客様に対して感謝の気持ちを込めて、昨今の食品価格高騰によるお客様の負担増加を緩和することを目的として、2023年12月7日に、「久世福商店」及び「サンクゼール」の売れ筋商品48品目を対象に、販売価格の値下げを行いました。当該価格改定によって、お客様の購買意欲が回復し、12月単月の既存店売上高は+4.1%と改善いたしました。

また、2023年9月に新業態店舗ブランドである「MeKEL(メケル)」の第1号店を長野県長野市にオープンいたしました。「MeKEL」は、「サンクゼール」や「久世福商店」の既存業態とは出店立地や取扱商品カテゴリーが異なり、ロードサイドに出店し、冷凍食品や世界の食品を多く取り揃えた業態です。業態の多様化によって、お客様の多様化するニーズにお応えし、お客様にとって価値のある商品やサービスを提供できるよう、取り組んでまいります。

B to Bの販売チャネルのうち、ホールセールに関しては、既存の主要取引先である大手小売チェーンに対する売上高が増加し、堅調に推移いたしました。グローバルに関しては、当第3四半期連結会計期間において米国の大手小売チェーンに対する売上高が増加したことに加え、2023年6月(米国子会社における第2四半期)に買収したPortlandia Foodsブランド商品の売上を計上したことにより、グローバル全体の売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高が14,304,263千円(前年同期比8.5%増)となりました。営業損益は、売上高が増加した一方で、売上総利益率が低下したこと等の影響により、1,087,997千円(前年同期比7.7%減)の営業利益となりました。経常損益は、為替差益42,823千円等の営業外収益63,048千円を計上した一方で、支払利息16,741千円等の営業外費用18,246千円を計上したことにより、1,132,799千円(前年同期比6.2%減)の経常利益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、税金費用416,984千円を計上したことにより、724,578千円(前年同期比8.2%減)の親会社株主に帰属する四半期純利益となりました。

出店政策に関しましては、当社グループでは、商圏人口、賃貸条件、ROIC等の指標を総合的に勘案し、新規出店を行っております。当第3四半期連結累計期間におきましては、「久世福商店」業態で9店舗を新規出店いたしました。また、新業態の「MeKEL」業態で1店舗を新規出店いたしました。その結果、当第3四半期連結会計期間

末における店舗は直営店52店舗、F C加盟店116店舗、計168店舗となりました。

当第3四半期連結累計期間における業態別の店舗数は以下のとおりです。

業態名	区分	前第3四半期 連結会計期間 末	前連結会計 年度末	増加	減少	当第3四半期 連結会計期間 末
サンクゼール	直営店	12	12	-	-	12
	F C加盟店	4	4	-	-	4
	計	16	16	-	-	16
久世福商店	直営店	42	39	-	-	39
	F C加盟店	98	103	9	-	112
	計	140	142	9	-	151
MeKEL	直営店	-	-	1	-	1
	F C加盟店	-	-	-	-	-
	計	-	-	1	-	1
全業態合計	直営店	54	51	1	-	52
	F C加盟店	102	107	9	-	116
	計	156	158	10	-	168

当社グループは、食品製造販売事業を単一の事業セグメントとしているため、セグメント情報の開示は省略しております。

当第3四半期連結累計期間におけるサービス別の売上高は以下のとおりです。

区分	売上高 (千円)	前年同期比増減率
直営	4,781,506	+0.2%
F C	5,250,280	+15.0%
E C	844,242	+1.4%
ホールセール	2,550,091	+10.3%
グローバル	878,142	+25.1%
計	14,304,263	+8.5%

① 直営

当第3四半期連結累計期間における直営の既存店客数は前年同期を下回ったものの、客単価は前年同期を上回って推移いたしました。新規出店に関しては、新業態の「MeKEL」業態で1店舗を出店しております。その結果、直営売上高は4,781,506千円となり、前年同期比で+0.2%の増加となりました。

② F C

当第3四半期連結累計期間におけるF Cの既存店客数は前年同期を下回ったものの、客単価は前年同期を上回って推移いたしました。現在は、新規出店の多くがF Cによる出店であることから、当第3四半期連結会計期間末のF C加盟店の店舗数は116店舗となり、前第3四半期連結会計期間末と比較して14店舗増加しております。その結果、F C売上高は5,250,280千円となり、前年同期比で+15.0%の増加となりました。

③ E C

E Cにおいては、アプリやE Cサイトを通じて継続的にブランドのファンであるお客様の拡大に努めており、E Cの利用者数が継続して増加いたしました。一方、秋口以降、前年同期に多くのテレビ番組に取り上げていただいたことの反動や、お客様の節約マインドの高まり等が影響し、売上高の伸びが鈍化いたしました。

その結果、E C売上高は844,242千円となり、前年同期比で+1.4%の増加となりました。

④ ホールセール

当第3四半期連結累計期間におきましては、大手小売チェーンとの取引が継続して拡大いたしました。その結果、ホールセール売上高は2,550,091千円となり、前年同期比で+10.3%の増加となりました。

⑤ グローバル

グローバルの売上高は、前連結会計年度と同様に、米国及び台湾における売上高が大部分を占めております。米国の大手小売チェーンに対する売上高が増加したことに加え、2023年6月（当社米国子会社における第2四半期）に買収したPortlandia Foodsブランド商品の売上を計上したことにより、グローバル売上高は878,142千円となり、前年同期比で+25.1%の増加となりました。

国別の内訳は、米国顧客への売上高が573,253千円、台湾顧客への売上高が285,241千円、その他の地域への売上高が19,647千円であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は9,758,000千円となり、前連結会計年度末に比べ583,561千円増加いたしました。これは、売上高の増加により売掛金が938,495千円増加したこと等によるものであります。

負債は4,995,991千円となり、前連結会計年度末に比べ47,565千円増加いたしました。これは、商品仕入高の増加により支払手形及び買掛金が77,281千円増加したこと等によるものであります。

純資産の部に関しては、親会社株主に帰属する四半期純利益724,578千円や剰余金の配当317,387千円の計上により、利益剰余金が前連結会計年度末に比べ407,191千円増加いたしました。その結果、株主資本は前連結会計年度末に比べ418,943千円増加し4,532,684千円となり、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ535,996千円増加し4,762,008千円となりました。なお、この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は48.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月9日に発表した通期の業績予想から、現時点で変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,317,671	2,397,569
売掛金	1,728,233	2,666,728
商品及び製品	1,234,512	1,180,426
仕掛品	90,517	115,724
原材料及び貯蔵品	310,701	324,717
その他	132,815	126,512
貸倒引当金	△92	△71
流動資産合計	6,814,358	6,811,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,148,275	2,280,822
減価償却累計額	△1,427,495	△1,501,219
建物及び構築物 (純額)	720,780	779,602
その他	1,603,541	1,765,643
減価償却累計額	△753,883	△851,004
その他 (純額)	849,658	914,639
有形固定資産合計	1,570,439	1,694,242
無形固定資産		
のれん	102,459	186,331
その他	32,187	411,132
無形固定資産合計	134,647	597,463
投資その他の資産		
その他	656,168	655,862
貸倒引当金	△1,176	△1,176
投資その他の資産合計	654,992	654,686
固定資産合計	2,360,079	2,946,391
資産合計	9,174,438	9,758,000

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,328,604	1,405,885
電子記録債務	128,687	201,546
短期借入金	662,591	510,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	160,297	221,893
未払法人税等	464,428	148,682
賞与引当金	85,382	129,774
役員賞与引当金	18,340	12,062
資産除去債務	9,000	—
その他	685,731	908,697
流動負債合計	3,643,064	3,638,542
固定負債		
長期借入金	908,474	933,173
退職給付に係る負債	68,174	84,150
資産除去債務	129,241	145,870
その他	199,470	194,254
固定負債合計	1,305,361	1,357,448
負債合計	4,948,426	4,995,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,127,115	1,133,014
資本剰余金	1,292,086	1,297,941
利益剰余金	1,694,538	2,101,729
株主資本合計	4,113,740	4,532,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,949	7,896
為替換算調整勘定	111,550	219,355
その他の包括利益累計額合計	109,600	227,252
非支配株主持分	2,670	2,071
純資産合計	4,226,011	4,762,008
負債純資産合計	9,174,438	9,758,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	13,183,128	14,304,263
売上原価	7,977,850	8,863,951
売上総利益	5,205,277	5,440,311
販売費及び一般管理費	4,027,095	4,352,314
営業利益	1,178,182	1,087,997
営業外収益		
受取利息	101	687
受取配当金	0	—
為替差益	21,737	42,823
デリバティブ評価益	2,475	—
債務免除益	36,138	—
その他	23,818	19,538
営業外収益合計	84,272	63,048
営業外費用		
支払利息	26,210	16,741
株式交付費	27,027	—
その他	1,271	1,505
営業外費用合計	54,509	18,246
経常利益	1,207,945	1,132,799
特別利益		
固定資産売却益	8,773	8,164
特別利益合計	8,773	8,164
税金等調整前四半期純利益	1,216,718	1,140,964
法人税、住民税及び事業税	441,497	405,981
法人税等調整額	△13,713	11,003
法人税等合計	427,783	416,984
四半期純利益	788,935	723,979
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△207	△598
親会社株主に帰属する四半期純利益	789,142	724,578

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	788,935	723,979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,134	9,845
為替換算調整勘定	155,957	107,805
その他の包括利益合計	165,091	117,651
四半期包括利益	954,027	841,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	954,234	842,229
非支配株主に係る四半期包括利益	△207	△598

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、食品製造販売事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な処理の確定)

2023年6月9日に当社連結子会社であるSt.Cousair, Inc. (所在地: 米国オレゴン州 以下、「SCI」という。)が行ったPortlandia Foods, Inc. (米国オレゴン州 以下、「Portlandia」という。)の事業譲受について、第2四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間において確定しております。

なお、第2四半期連結会計期間に暫定的に算定されたのれんの金額に変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。